

## シラバス

科目名	家庭総合	履修学年	1 学年 (必修)・選択
教科担任	石井 京子	単位数	2 単位
教科書名	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材	生活ガイドブック 資料+グラフ成分表 (教育図書)
教科目標	<p>家庭生活に必要な知識と技術を身につけるとともに、自分の生活と社会の課題を結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指す。</p> <p>また、環境や社会、経済について総合的に考え、持続可能な社会への課題と向き合い、学んだ知識と技術をいかして持続可能な社会を構築することを目指す。</p>		
科目目標	<p>少子高齢化等の社会の変化や持続可能な社会の構築、食育の推進、男女協同参画社会の推進、成年年齢の引き下げ、生活文化の継承等を踏まえて、生活を主体的に基づいて課題を解決する力を養い、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことにより、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。</p>		
学習方法	<p>授業は、大半は座学で被服実習が10時間程度入ります。</p> <p>座学の授業はプリント学習です。説明等をしっかり記入しましょう。</p> <p>プリントは紛失しないように、自己管理を徹底してください。</p> <p>被服実習では、作品を期日までに完成させ、提出することが求められます。</p>		

## 科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけている。 (評価の割合 4 割)	<input checked="" type="checkbox"/> a 定期試験 c 課題・プリント d 小テスト <input type="checkbox"/> e その他
② 思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、その解決を目指して思考を深め、実践を評価・改善し、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 (評価の割合 3 割)	a 定期試験 <input checked="" type="checkbox"/> c 課題・プリント d 小テスト e その他
③ 主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題解決に主体的に取り組み、改善しながら、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 (評価の割合 3 割)	<input checked="" type="checkbox"/> b 授業態度 c 課題・プリント e その他

※評価方法【a 定期試験 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】

特に重視する方法

## 年間学習計画

単元	第1章 生涯を見通す (予定時数 8)
主な学習内容(活動)	【オリエンテーション】 人生を展望する、目標を持って生きる
評価の観点と評価方法	<p>① ・人の一生について、自分と他者、社会との関りから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営むために、生涯を見通して生活課題に対応し、意思決定していくことの重要性について理解を深めている。</p> <p>・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>【定期試験】【単元テスト】【課題・プリント】</p>
	<p>② 生涯を見通した自分の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および職業生活について考察するとともに、生活資源を活用した生活設計について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、課題解決する力を身につけている。</p> <p>【課題・プリント】【その他】【定期試験】</p>
	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について課題解決に主体的に取り組んだり、評価・改善しながら地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> <p>【授業態度】【課題・プリント】【その他】</p>

単元	第2章 人生をつくる (予定時数 8)
主な学習内容(活動)	人生をつくる、家族・家庭を見つめる、これからの家庭生活と社会 【前期中間試験】
評価の観点と評価方法	<p>① ・生涯発達の視点から、各ライフステージの特徴と課題について理解しているとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めている。</p> <p>・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解しているとともに、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関り、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。【定期試験】【単元テスト】【課題・プリント】</p>
	<p>② 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【課題・プリント】【その他】【定期試験】</p>

	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。【授業態度】【課題・プリント】【その他】</p>
--	--

単元	第3章 子どもと共に育つ (予定時数 19)
主な学習内容 (活動)	命を育む、子どもの育つ力を知る、子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ、これからの保育環境 【前期期末試験】
評価の観点と評価方法	<p>① ・乳幼児期の心身の発達と生活、子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子どもの発達に応じて適切に関わるための技能を身につけている。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や課題、及び子どもの福祉について理解を深めている。【定期試験】【単元テスト】【課題・プリント】</p>
	<p>② 子どもの健やかな発達を支えるため、子どもとの適切な関わり方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【課題・プリント】【その他】【定期試験】</p>
	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。【授業態度】【課題・プリント】【その他】</p>

単元	第7章 衣生活をつくる (予定時数 19)
主な学習内容 (活動)	被服の役割を考える、被服を入手する、被服を管理する、被服を作る 衣生活の文化と知恵、これからの衣生活 【被服実習】【後期中間試験】
評価の観点と評価方法	<p>① ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した事故と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【定期試験】【その他 (被服実習)】【単元テスト】【課題・プリント】</p>
	<p>② 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【課題・プリント】【その他】【定期試験】</p>

	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。<b>【授業態度】【課題・プリント】【その他】</b></p>
--	--

単元	第4章 超高齢社会を共に生きる (予定時数 12 )
主な学習内容 (活動)	超高齢・大衆長寿社会の到来、高齢期の心身の特徴、高齢者の自立を支える、これからの超高齢社会 <b>【学年末試験】</b>
評価の観点と評価方法	<p>① ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。</p> <p>・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、及び高齢者福祉について理解を深めている。<b>【定期試験】【単元テスト】【課題・プリント】</b></p>
	<p>② 高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関り方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p><b>【課題・プリント】【その他】【定期試験】</b></p>
	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関りと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。<b>【授業態度】【課題・プリント】【その他】</b></p>

単元	第5章 共に生き、共に支える (予定時数 4 )
主な学習内容 (活動)	私たちの生活と福祉、社会保障の考え方、共に生きる
評価の観点と評価方法	<p>① ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>・家庭と地域との関りについて理解するとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支えあって生きることの意義について理解を深めている。<b>【定期試験】【単元テスト】【課題・プリント】</b></p>
	<p>② 家庭や地域社会の一員としての自覚を持ち、様々な人との関り方について問題を見出し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。<b>【課題・プリント】【その他】【定期試験】</b></p>
	<p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。<b>【授業態度】【課題・プリント】【その他】</b></p>

